中２社会科指導略案

１　教科・単元　　歴史分野「ヨーロッパ人の世界進出」

２　日時　　令和６年９月18日（水）　６時間目（14：25～15：15）

３　場所　　３階学習室８

４　生徒　　中２　３名

５　指導者　　磯村　浩二

６　ねらい　　①１６世紀にヨーロッパ人が世界に進出した理由を知る。②宗教改革をきっかけに、布教活動の必要性が出てきたことに気づく。③香辛料を求めて大航海時代が始まったことに気づく。

７　生徒の実態　　それぞれ歴史的事象の理解度は大きく異なるが、教科書の図や資料、プリントを使い、関心をもって学習している。生徒Ａは事象の拝啓や人物の心情を自分なりに推測して鋭い質問ができる。生徒Ｂは事象の原因を考え、結果を予測しながら学習を進め、納得できると喜びを感じることができる。生徒Ｃは、人物の姿や様子、自分の知っていることを中心に関心をもち、楽しみながら授業に参加することができる。

８　展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容 | 指導上の留意点 | 備考 |
| 14:25 | 前回授業のプリントを見ながら、ルネサンスの復習をする。 | 重要語句を意識できるようにする。 |  |
| 14:30 | 宗教改革のきっかけについて知る。免罪符を売るローマ教皇のやり方についてどう感じるか発表する。 | キリスト教がもともとどんな宗教だったか思い出せるようにする。 |  |
| 14:35 | 宗教改革をおこなった二人の主張について知る。風刺画の意味について考える。 | 主張はプリントで確認させる。宣伝用の絵を見て考えられるようにする。 |  |
| 14:45 | 宗教改革後、カトリック教会が布教活動に乗り出したことを確認する。 | 「イエズス会」の用語は後に出てくることを伝える。 |  |
| 14:50 | ヨーロッパの商人が、陸上で直接香辛料を手に入れられない事情を知り、大航海時代が始まるきっかけを知る。 | イスラム教の力が強まったことで、イスラム商人の存在も大きくなったことに気づかせる。 |  |
| 14:55 | ３人の探検家がどのように海路を発見したか調べる。 | 探検家の様子はプリントで確認させ、簡単な世界地図で航路を説明させる。 |  |
| 15:05 | 大航海の結果、貿易や植民地支配が始まることを確認する。 | プリントを使って簡単に確認できるようにする。 |  |
| 15:10 | 本日の学習内容を振り返る。ヨーロッパ人の世界進出の目的を発表する。 | ヨーロッパ人の進出がキリスト教と鉄砲の伝来につながることを意識させる。 |  |